



# 8月は観光月間!

みなさん、「観光の日」と「観光月間」をご存知でしょうか。

沖縄県では、沖縄県観光振興条例において、8月1日を「観光の日」と定めています。また、観光産業に対する理解と関心を深めて、観光客を温かく迎え入れるおもてなしの心を県民が共有することを目的に、8月を「観光月間」と位置付けて、世界水準の観光リゾート地の形成を目指しています。

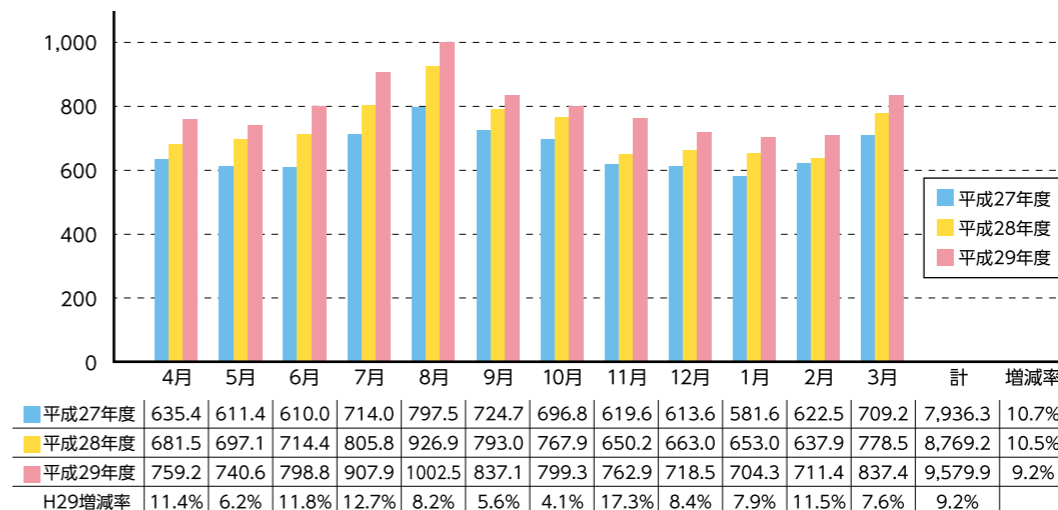
「観光の日」とは？  
「観光月間」とは？

8月1日の「観光の日」には、県民が観光についての認識を新たにするとともに、沖縄の観光を広く紹介するためのオープニングイベントを開催し、ミス沖縄やご当地キャラクターと共に観光月間のスタートをPRします。また、観光月間中は、県内各地域のイベントとタイアップしたPR活動やノベルティグッズの配布を通して、観光客を温かく迎え入れる気運の高揚を図る取り組みを行っています。

過去最高の観光客数!

ところで、沖縄を訪れる年間の観光客数はどのくらいかご存知でしょうか。平成29年度の入域観光客数は約958万人で、平成28年度に比べ、約81万人の増加となり、5年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新しています。8月には初の単月100万人を突破したほか、平成29年(暦年)に沖縄を訪れた観光客は世界一流の観光地であるハワイを超え、観光をリーディング産業としている沖縄にとって、記憶に残る年となるものと考えています。

◎月別入域観光客数の推移(平成27年度～平成29年度)



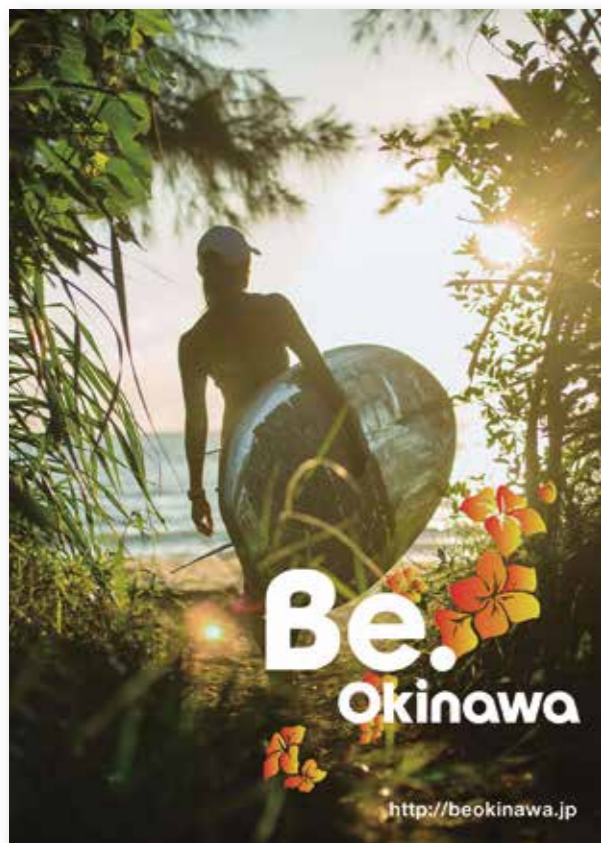
～美しい自然と温かい人たちに囲まれて、本来の自分を取り戻せる島～

## 沖縄県の取り組み

沖縄県では、リーディング産業である観光リゾート産業の、平成33年度目標値を入域観光客数1,200万人・観光収入1兆1千億円と定めています。

そのために、沖縄県はこれまで沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を基本ベースとして、国内外へ沖縄の持つ様々な魅力をPRする各種プロモーション活動を実施してきました。平成29年度には、国内外の多くの航空路線が結ばれている那覇空港を「国際旅客ハブ」とする構想を策定し、今後、沖縄が観光リゾート地としてだけでなく、日本本土とアジアを中心とした海外との航空路線の経由地を目指し、より一層航空路線の拡充を図ると共に、様々な国内外周遊旅行を促進していくこととしております。

また、中国を中心としたアジアのクルーズ人口の急激な増加と沖縄の地理的ポテンシャルを最大限活かした「東洋のカリブ構想」を策定し、東アジアのクルーズ拠点を目指してまいります。この空と海の2つの構想により、沖縄の自立に向けた更なる発展を加速していきたいと考えています。



とが見込まれる観光客の、受け入れ体制の強化として、これまでに「Be. Okinawa Free WiFi」の整備や多言語コンタクトセンターの運営を行っています。平成30年度からは24時間365日対応の「Be. Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター」を設置し、外国人観光客が安心して沖縄観光を楽しむことができる環境を整備しています。

ウエルカムんちゅになろう!

県民の理想の姿を表しています。ウチナンチュは元来「イチャリバチョーデー」や「ユイマール」に見られるように県民性としてよそから来た人を受け入れる寛容性や、身近な人たちで協力し合う協調性を持っていると言われています。実際に、沖縄を訪れる外国人観光客は、沖縄の人のおもてなしに大変満足しているという調査結果も出ています。観光客が増えている一方、「行きたい場所に行けない!」「道に迷ってしまった!」「どこに行けばもっと沖縄を楽しめるの?」と困っている観光客も増えています。特に海外からの観光客は「言葉が通じない」と困っている方が数多くいらっしゃいます。言葉が通じなくても、ジェスチャーや雰囲気などで

わかることもあります。外国人観光客が急増している今、観光客を「うとういむち(おもてなし)」の心で温かく迎え入れる「ウエルカムんちゅ」が必要なのです!

「Be. Okinawa」とは

「Be. Okinawa」は国内外統一の沖縄観光ブランドです。「Be. Okinawa」には「美しい自然と温かい人たちに囲まれて、本来の自分を取り戻せる島」というブランドに込めた理念があり、これは「世界中からいらっしゃるお客様に沖縄が提供できる価値」を表現しています。



問い合わせ 観光振興課 電話:098-866-2764 FAX:098-866-2765

もっと、こ・え・か・け 注意! 注目! 熱中症!!



もっと、こ・え・か・け 注意! 注目! 熱中症!!

